

審議会等の議事の要旨(要点)

(基本情報)

会議名称	第17期第3回男女平等参画推進審議会
開催日時	令和5年10月31日(火曜日) 午後7時00分~午後9時00分
開催場所	女性総合センター 第2学習室
次第	1 会長挨拶 2 議事 (1)立川市第7次男女平等参画推進計画実施状況報告(令和4年度年次報告)について (2)立川市第8次男女平等参画推進計画策定に当たっての基本的な考え方について
配布資料	・(差替え)第8次男女平等参画推進計画策定に当たっての基本的な考え方について(諮問)(写) 【第1回審議会にて配布】 資料3 立川市第7次男女平等参画推進計画実施状況報告書(案)(令和4年度年次報告) 資料4 立川市第7次男女平等参画推進計画実施状況報告書比較用資料(令和3年度年次報告)
出席者	[委員] 秋山俊、八幡真由美、伊東祐也、坂本澄子、矢野美智子、坂本利光、千葉雄太、津崎結子 (欠席:山根純佳、井上清美、佐藤良子、鈴木美智子) [事務局] 岡崎尋美(男女平等参画課長)、安藤悠佑(男女平等参画係長)、
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	1. 会長あいさつ 2. 議事 立川市第7次男女平等参画推進計画実施状況報告(令和4年度年次報告)について ・委員からの意見等は、下記のとおり。 【質問・意見等】 基本テーマⅢ 男女が働きやすい環境づくりの推進 【施策3】男女の多様な働き方のための子育て支援 事業⑮ 地域における子育て支援の推進 ⑮-1 子ども家庭支援センター ・子育てサークル登録数が前年に比べはかなり減っている理由は何か。 →2年に1回更新をすることになっているが、コロナ禍の影響により対面での活動を控えることが続き、令和4年度に更新をするサークルが20

団体減ったため。

・子育て中であるが、子育てサークルの存在を知らなかった。団体の登録数の増減より、どのような団体があるのか活動内容等もっと対象者に知らせて欲しい。

・子育て支援として子育てサークルの活動を援助していることは良い。子育てサークルは「パパだけ」「ママだけ」がよいというニーズもある、幅広いニーズに合わせて対応できるようにするためには多くのサークルがあることが望ましい。登録数を増やすためにも活動の内容等の広報が課題であると思う。

⑮-3 子ども育成課・教育総務課

・放課後子ども教室等の参加者数が3倍くらいになっているのは良いことである。理由はあるのか。

→令和4年度から『放課後子ども教室くるプレ』が実施され、一日の参加者数が100名程度あることで、かなり増えたことになる。

・子どもも親も孤立しないということでは参加者が増えることはよいことである。19校のうち3校だけでなく、更に実施校を増やしてほしい。

→『放課後子ども教室くるプレ』実施校は令和5年度には新たに4校増えている。実施していない学校ではPTAの方々の協力で放課後子ども教室という形の支援を行っている。

・『放課後子ども教室くるプレ』については、参加者からの感想を聞き反映するなど行くと良いと思う。

【施策4】男女の多様な働き方のための介護支援

事業⑯ 介護、福祉に関する情報提供と相談

⑯-1 高齢福祉課

・総合相談件数が2,000件増えている理由は何か。

→コロナ禍の落ち着きとともに相談件数が増えている。

・予防給付プラン作成と総合事業プラン作成とは何か。件数が上がっていることは評価できる。

→予防給付プラン:「要支援」の認定を受けた人が利用できる介護保険サービス。

総合事業プラン:65歳以上のすべての人が対象。介護認定を受けてなくても一人ひとりの生活に合わせた事業が利用できる。

⑯-1 介護保険課

・介護は急に必要になる場合がある。介護に直面したらここに相談するとよいというような、必要な人に必要な情報提供があるとよいと思う。

→「介護保険のお知らせ」として年1回広報たちかわの折り込みで全戸

配布、ホームページにも掲載し情報提供を行っている。

・介護保険の広報と介護について相談する窓口（地域包括支援センター）とは別であると思う。地域包括支援センターがどのように啓発しているのか大切である。

⑩-1 障害福祉課・高齢福祉課

・相談としては、まず福祉関係課に行くと思われるため、各包括支援センターに行くまでに用が済んでしまうと思う。市民にとって包括支援センターはどんな存在なのか、どこにいけば総合的な相談やケアができるのかが分からない。『相談はこちらへ』というPRが大事である。

→市の部署と地域福祉包括支援センターとは密な関係であり、それぞれ事象によってどこにつないだら良いかの連絡体制は取っている。

また、〇〇福祉課という部署が多数あり、どこにも該当しないケースなどにも対応できるように、昨年度から地域福祉課が新設された。どこの窓口でも相談に来ていただければその先の支援は受けられるようになっている。

・連携が取れているからこそ総合相談の件数が上がっていると言えるのではないと思う。

・困ったらまず市役所に行ってしまうと思うが、行けない人もいる。そのためには地域包括支援センターがどのようなことをやっているのか分かったり良いと思う。

⑩-2 地域福祉課

・「一人暮らしの高齢者の実態調査」は毎年行っているのか、その結果を行政の施策に反映させているという意味か。

→毎年2月から4月に調査を行い、令和4年度の数値がとりまとめ中である。調査方法は住民票上70歳以上の一人暮らしの方を担当地域ごとに民生委員が確認しているというもの。立川市には約6,000人程度の一人暮らしの高齢者がおり、男性3割女性7割。

事業⑬ 介護、福祉に関する情報提供と相談

⑬ 高齢福祉課

・「ちょこっとボランティア」は、よいネーミングである。自分もやってみたいがどこで登録したらよいか分からない。

・有償ならばボランティア側もやりたい人が増えるのではないかという意見が過去にあった。

・「ちょこっとボランティア」の間口を広げる工夫も必要。無償と有償を作り案件によって変えていくというのも考えられる。

・手伝いをするのもされるのも双方が助け合えると良い。そうすることで相

互理解が進んでいくと考える。

・支援につなぐという点では、地域包括支援センターが少ないと思う。高齢化に限った話ではない。

・「ちょこっとボランティア」の存在は評価できる。もっと増えて欲しいが参加件数が増えていない。間口をもっと増やして欲しい。

・介護は突然やってくるが、自分がどこの地域包括支援センターに該当するか分かっていればすぐに適切な支援に繋いでくれることが分かる。そのためにも「ちょこっとボランティア」を通じて若い人にも早めに地域包括支援センターの存在を知らせることはよい。

→「ちょこっとボランティア」は、高齢者の生きがいづくりを目的とした制度である。支援する側とされる側の調整を地域包括支援センターが行っている。ちょっとしたお手伝いということで、ゴミ出しや郵便物を受け取るなど15分以内で終了する作業が中心となっている。

⑱ 健康推進課

・健康ポイント参加者数が増えているのは大変良い。

→前年度と比べ定員数を400人から1,000人に増やしたこと。コロナ禍の自粛モードがなくなり出かけるようになってきていると考えられる。また健康ポイントは男女平等参画課の企画する講座に参加することでポイントが付与されるものもあり市全体の協力体制で行っている。

【施策5】多様な働き方への支援

事業⑲ 多様な働き方に関する情報提供

⑲ 男女平等参画課

・個別相談会を開催するように至った経緯は何か。相談を受ける人の対応を知りたい。またどのくらい人気があったか。

→「女性のための再就職支援セミナー&個別相談会」は東京しごとセンター女性しごと応援テラスとの共催事業である。コロナ禍もあり在宅ワークも再就職の選択肢の一つとして考えられるような講座として企画したところ大変人気となり、当初予定の半日講座を午前午後の2回開催することになった。個別相談会は希望者のみに実施しており、詳細の内容は不明。

・情報提供を受けるだけでなく、それに対して個別相談ができるという環境が評価できる。

・「パートの働き方を変える『〇〇万円の壁』について学ぼう!」の講座は、AIM登録団体の企画運営で、キャンセル待ちが出るほどの人気講座であった。

・多様な働き方を広めるためには、それを決める事業主側にも推進してもらおうような働きかけや広報も必要であると思う。

基本テーマⅣ 配偶者等からの暴力の防止

【施策Ⅰ】暴力の未然防止と早期発見

事業⑳ 暴力防止のための意識啓発

㉑-1 男女平等参画課

・パネル展の指標がアンケート回答数でよいのか、興味があって来ているがアンケートの時間までない場合もある。

→受付を設けていないため、来場者を把握するのは難しい。このパネル展は11月が児童虐待防止月間でもあるため、子ども家庭支援センターとの共催で行っている。

・設置しているDV防止支援カードの減り具合はどの程度か。

→女子トイレの個室に設置しており、毎年残数から集計を取っている。子どものいたずらや落としてしまったなどもあるかもしれないが、令和4年度の配布数は732枚。

・DV防止支援カードは男性のDV防止啓発のために男子トイレにも置くべきである。

→男子トイレには個室ではなく目につくところにポスターを貼っており、男性も被害に合うことを想定し相談先の周知をしている。

・DVにあたる行為を認識させるような注意喚起を男性側に向けて行うことも必要ではないか。

・DV被害者としてずっと管理されている場合、一人になれる個室にDV防止支援カードがあることは非常によい試みである。ただ暴力防止という意味では加害者側に何がDVにあたるか具体的な事例の周知が必要であると思う。暴力は女から男へもあると思う。暴力防止の意識啓発という側面で男女平等参画課として他に必要なことがないか検討して欲しい。

㉑-2 男女平等参画課

・様々な自治体のリーフレットを見る機会があり、立川市は文字が多すぎる。何がDVにあたるかを『見てわかる』ようにしてることが必要。具体的にDVに当たる行為のチェックリストやマンガでの表記も良いと思う。

・市内中学校で行っている性教育講座の参加人数が増えていることは評価できる。実施していない学校でも講座の開催が出来るとうい。

㉒-2 指導課

・特別の教科、道徳の時間数が少なすぎる。本人が嫌がっていることもハラスメントにあたるというような倫理観を教えるには時間が必要。

・家庭科での「家庭生活」についての指導は何を教えているのか。昔の家父長制まではいかないと思うが、こういう家庭生活がいいとなっていないか。

事業⑳ 被害者の早期発見

㉑-1 地域福祉課

・オンラインでの開催だったため参加しなかったとはなぜか。
→東京ウィメンズプラザと市が共催で行っているDVに関する研修がオンライン開催のみに切り替えたため、対象である民生委員の参加が得られなかった。今後はオンライン研修の内容を録画したものを立川市の女性総合センター会議室で配信できるようになったため、立川市で民生委員に研修の参加を促すようにする予定である。

【施策 2】相談体制の充実

事業㉒ 相談しやすい体制の整備

㉒-2 男女平等参画課

・カウンセリングはオンライン相談を実施しているか。オンラインだともう少し相談がしやすくなるのではないかと思う。
→現在は行っていない。環境整備がなかなか追いつかない部分がある。
・DV相談をもっとしやすい体制にしていけると良い。
・自分が受けていることがDVと自覚できているかが問題。
・相談のハードルを下げるのが大切である。
→男女平等参画課のカウンセリング相談は、心のもやもや、女性としての悩みなども受付しており、市内在住在勤以外の詳細なことは確認しないことで、相談することへのハードルを下けている。まずは一歩踏み出すことができるような仕組みにしている。

㉒-3 生活福祉課

・婦人相談員の方々が窓口になることが多い。その相談員向けの研修や連絡会を定期的に関催するのは評価できる。

【施策 3】被害者の自立の支援

事業㉓ 被害者が安全・安心の生活を送るための支援

㉓-1 生活福祉課

・シェルターでの生活の様子や入所条件が見えなさ過ぎて相談できない人がいる。もう少し内容が分かれば相談しやすい。
→加害者がいるため周知が難しい部分がある。あまり門戸を広げてしまうと所在が知られてしまう可能性がある。まず悩んでいる場合には婦人相談員やカウンセリング等で状況を相談してもらうことでその先の支援に繋げることは可能であると考えている。

	<p>事業⑳ 被害者と子どものケアの促進</p> <p>㉔-1 子ども家庭支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議の開催数が減っている。虐待の件数自体は増えているはずなのに会議が減ることが気になる。 →ケース会議は関係機関からの要請で開催する会議であり、今回関係機関からの要請がなかったことで減少している。 ・子ども家庭支援センター側でイニシアティブを取って行う事案もあると思うので、センター側でケース会議を開催することも検討して欲しい。 <p>基本テーマⅤ 計画の推進</p> <p>【施策Ⅰ】計画の推進と進行管理</p> <p>事業㉔ 計画の推進</p> <p>㉔-1 男女平等参画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が明けたことで数値が増えているのか。 →懇談会出席団体が増えているのは、懇談会開催時に著作権の講座をも行ったため出席者が増えている。講座の企画にあたっては各団体がチラシの作成を行っているため著作権勉強会を開催した。 <p>㉔-3 男女平等参画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サポートは他の課ではないのか。 →男女平等参画課が女性活躍推進事業として、他課の審議会等の保育事業を取りまとめている。 <p>3. その他</p> <p>次回からの日程</p> <p>第4回 11月28日(火)</p> <p>第5回 12月19日(火)</p> <p>※いずれも時間は19時～21時、会場は女性総合センター会議室</p> <p>閉会</p>
<p>担当</p>	<p>総合政策部男女平等参画課男女平等参画係</p> <p>電話 042-528-6801</p>